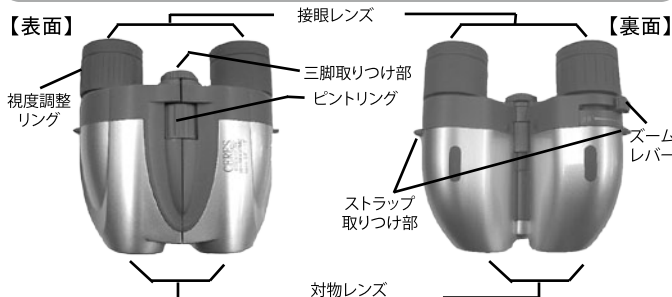
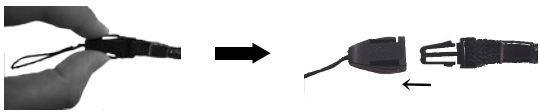
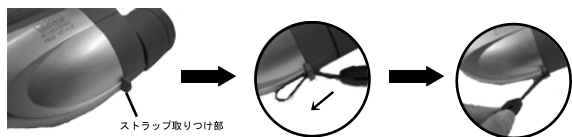
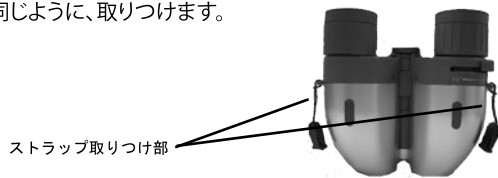
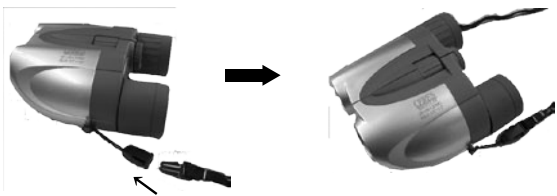
セレス10～50×27MC ズーム双眼鏡

取扱説明書（補足）

このたびは、ズーム双眼鏡をお買い上げいただき、ありがとうございます。ご使用の前には必ず取扱説明書と取扱説明書補足をよくお読みいただき安全に正しくお使いください。また取扱説明書等は必ず大切に保管しておいてください。

各部名称

ストラップの取りつけ方

1. まずストラップの両端についているコネクターをそれぞれ外します。両端を押しながら引き出すと外れます。

2. 外したコネクターの紐を双眼鏡のストラップ取りつけ穴に入れます。通した紐の中にコネクター部分を中に通し、引っ張りたわみを取ります。

ストラップ取りつけ部

3. 反対側も同じように、取りつけます。

4. 取りつけが終了しましたら、ストラップを取りつけます。この時ストラップがねじれないように注意してください。

双眼鏡の使い方

1. ストラップを取りつけます。
（ストラップの取りつけ方を参照）

2. ズームレバーを一番倍率の低い方に合わせます。
双眼鏡の裏側にあるズームレバーを10×の方に動かします。

※一般的に高倍率になりますと、視野が狭くなり暗くなるため、目標物が見つけにくくなります。まず、低倍率で目標物を捉え、徐々にズームアップしていきましょう。

3. 双眼鏡を覗いてみましょう。
双眼鏡の接眼レンズ側から覗きます。

※反対側から覗くと、像が小さく見えます。必ず接眼レンズ側より覗いてください。

接眼レンズ

こちら側から覗きます

4. アイポイント（双眼鏡を覗いた時、全視野が見える位置）を合わせます。
眼鏡をかけていない方は、そのままの状態で観察することができます。眼鏡をかけている方で、双眼鏡をのぞいた時に全視野を見ることができない場合は、ゴム見口を折り曲げてご使用ください。

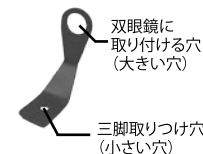
ゴム見口

5. 双眼鏡を自分の目の幅に調整します。
両手で双眼鏡本体を持ち、自分の目の幅に合うように左右の筒の結合部をゆっくり折るように動かします。図のように左右の目で見た視野が１つの円になって見えた時が最適な幅ということになります。

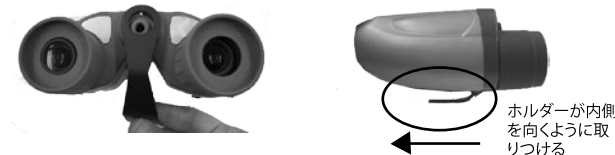
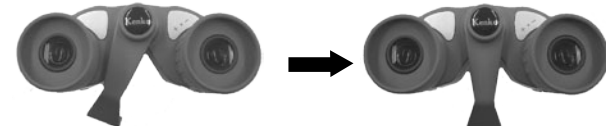
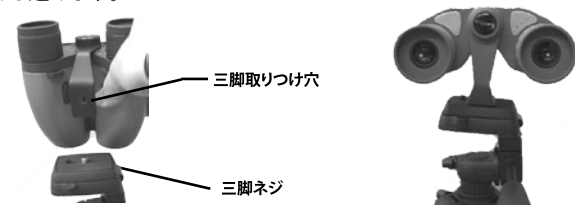
6. 視度とピントを合わせます。
①看板の文字など１点の目標を決めます。
②まず右目を閉じて、左目だけで対象物がはっきり見えるようにピントリングを回します。
③次に左目を閉じて、右目だけで対象物がはっきり見えるよう視度調整リングを回します。
④以上で左右の視度の違いが調整され、両眼のピントのずれが解消します。あとは、ピントリングを回すだけで、すぐに焦点を合わせることができます。

7. 構え方
手で持って使用する場合は、脇を締めて両手でしっかり構えます。木立やクイなどを三脚代わりに使用すると手ぶれが少なくなります。必要によってズームを使用しご覧ください。高倍率でご使用の場合、手ぶれが大きくなりますので付属の三脚取りつけホルダーを使用し、三脚に取りつけてご使用することをおすすめします。（三脚取りつけホルダーの取りつけ方を参照）

脇を締めて両手でしっかり持ちます。

三脚取りつけホルダーの取りつけ方

左記の三脚取りつけホルダーを双眼鏡に取りつけ、三脚で固定します。

1. 左右の接眼レンズの間にあるキャップを取り外します。
左に回すと外れ、右に回すと固定されます。

2. 外した部分へ三脚取りつけホルダーをつけます。
この際、三脚取りつけホルダーの向きにご注意ください。

3. 三脚取りつけホルダーがきちんと中央になるように調整しながらキャップを締めます。
※キャップの締めが弱いと双眼鏡が外れる恐れがありますのでしっかりと固定してください。

4. 三脚取りつけホルダーにあいている、三脚取りつけ穴に三脚のネジをねじ込みます。

ご注意

双眼鏡を高倍率にするとレンズの部分に黒い幕がかかったような状態となり、透明なナイロンの紐のようなものが視界の中をすべっていくように見えることがあります。これは、眼球内の組織体が網膜上に投影されて回析現象を起こすことで生じるもので、一般的にエントプティック現象（飛蚊現象）と呼ばれる現象です。双眼鏡の異常ではありませんのでご注意ください。